七色のかがやき

長崎市立虹が丘小学校　学校便り№２
令和８年　５月　１日（金）
編集・発行責任者　校長　池田敏典
E-mail　e52@nagasaki-city.ed.jp
G-mail　nijigaoka@gmail.com

風薫る季節

新緑の中を吹き抜ける風が、心を爽やかにしてくれる季節となりました。ゴールデンウィークから始まる５月。慌ただしかった新年度スタートの一か月でしたが、まずは一息ついて、気持ちをリセットするのに良い機会かと思います。子どもたちも、新しい学年、新しい担任との学校生活に慣れるのに、気付かないうちに心が疲れていたのではないでしょうか。特に１年生は、初めての小学校生活で、毎日、疲れが溜まっていたものと思います。ゴールデンウィークを有効に生かし、お子さんがゆっくりとした気持ちで過ごせるよう御家庭での御配慮をお願いいたします。



SNS への警告

強面（こわもて）の人には、いくら不快感を抱いているときでも、注意したり意見したりすることができません。何をされるか分からないからです。もしかすると、殴られるかもしれない。恫喝されるかもしれない。面と向かうということとは、そのようなことです。

悲しそうな友達に、「本当は君が悪いんだよ」と思っていても、悲しんでいる人を責めるような言葉は言えません。その友達が悲しみにくれていることが、表情から、体の様子から、言葉から伝わってきて、慈しみの情があふれるからです。面と向かい合うということは、生身の体ごと向かい合うとは、そのようなことです。

このように、私たちは、常に生身の体ごと、人と向き合わなければなりません。そこでは、相手の様相を考慮しながら、自分の感じたことや考えたことを、時には柔らかく、時には厳しく、時には思いやり一杯に表現することが求められます。

つまり、私たちは、制約条件が多くある中で相手の様相を考慮しながら言葉を選んで接することで、円滑で穏やかな人間関係をつくり、維持しているわけです。

さて、何の話かと言いますと、携帯やスマホなどの機器を用いた SNS（ｿｰｼｬﾙﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ）利用への警鐘です。

いわゆるネットいじめが深刻化し、全国的に問題となって久しく経ちますが、依然としてその脅威は続いており、「いじめは布団の中で起きている。」と言われてもいます。

そこでは、生身の人間と向き合うことなく、不愉快だと思ったことは極めてストレートに表現することが可能です。仕返しがないから。体の危険性を感じないから。反撃にあうことを察知したときには遮断すればいいから。どのような辛らつな言葉も相手に浴びせることができる。胸がスカッとする。何でも自分の思いどおりにできるといった万能感をもつようになります。

このように考えると、未だ自制心が十分に育っていない段階で、子どもに携帯・スマホを買い与えること、買い与えた後の成長については、保護者の皆様の子育てに係る覚悟と責任が伴うことは当然だと言えるでしょう。

ネット社会を避けて通れない時代にいる現代、私たち大人は、今、子どもにスマホ等を買い与えるべきか、買い与えた後何のルールも設けずにおくべきなのか、熟考し、行動しなくてはならないと考えます。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ一緒に考えていただき、健全な子どもたちへと育ててまいりましょう。

地域の方々へ感謝

滑石地区民生委員児童委員協議会の皆様が、子どもたちの安全のためにと、登校時間に合わせて見守り活動に取り組んでくださいます。

期間は、５月１１日（月）から１５日（金）までで、１６４階段下付近に制服を着用されて立哨されます。本当にありがたく思うとともに、虹が丘小の子どもたちは幸せ者だと思うところです。

御家庭におかれましても、「おはようございます。」や「ありがとうございます。」といった挨拶ができるよう、お子さんへのお声掛けをお願いいたします。